



2022年4月20日

各位

会社名 株式会社オプティマスグループ
代表者名 代表取締役社長 山中信哉
(コード：9268 東証スタンダード市場)
問合せ先 総務・IRユニット長 足立 敢
(TEL：03-6370-9268)

2022年3月期 連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2021年11月15日に公表いたしました「2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績予想」及び「2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の配当予想」を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 連結業績予想(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 43,000	百万円 2,800	百万円 2,750	百万円 2,400	154円90銭
今回発表予想(B)	45,570	3,070	3,070	2,540	194円48銭
増減額(B-A)	+2,570	+270	+320	+140	—
増減率(%)	+5.9%	+9.6%	+11.6%	+5.8%	—
(ご参考)前期実績	24,920	864	1,262	953	72円05銭

(注) 当社は2022年4月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度期首(2021年4月1日)に当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 2022年3月期 配当予想

基準日	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	—		—	70円00銭	125円00銭
今回発表予想	—		—	85円00銭	140円00銭
当期実績		55円00銭			
(ご参考)前期実績	—	14円00銭	—	36円00銭	50円00銭

(注) 当社は2022年4月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の期末配当につきましては、当該分割前の配当金を記載しております。

3. 連結業績予想及び配当予想修正の理由

当社グループの主な収益の源泉である最重要市場ニュージーランドの経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による影響はあるものの回復傾向にあります。この回復基調の下、ニュージーランド中銀は2021年10月以降断続的に利上げを行い、ニュージーランドドル対日本円為替相場は水準を切り上げ1ニュージーランドドル=85円近辺で推移しています。同国中古自動車市場は、物流需給のひっ迫に因る滞貨の影響はありますが、2022年3月期の中古自動車市場は台数ベースでプラス成長となっています。

当社が戦略的成長市場と位置付けるオーストラリア経済についても、昨年度中にCOVID-19対策としてロックダウン措置が執られましたが、ニュージーランド同様、回復途上にあります。新車輸入の減少もあり、同国内で還流する中古車市場は旺盛な需要を維持しています。

上記のCOVID-19下の需要や円安をプラス材料とする事業環境の下、当社グループが進めてきた既存事業の一層の収益力強化策が奏功し、期首計画策定時の想定を超えて成果を上げております。特に主軸であるニュージーランド向け中古自動車輸出のロックダウンに因る計画比取扱数量の減少を他国向け輸出でカバーすると共に、ニュージーランド市場でのシェアアップにより商量を確保し、更に旺盛な需要による価格上昇と円安が売上高及び最終利益を押し上げております。またCOVID-19の影響からの回復途上にある検査事業も収益改善策の進捗に加え円安効果から徐々に収益を回復しております。

以上により、2022年3月期通期の業績予想を見直した結果、売上高455億70百万円（前回公表比5.9%増）、営業利益30億69百万円（同9.6%増）、経常利益30億70百万円（同11.6%増）、親会社株主に属する当期純利益25億43百万円（同5.9%増）の増収増益となる見込みでありますことから「2022年3月期の連結業績予想」を上方修正いたします。

また配当につきまして、当社は従前より株主の皆様に対する安定的な利益還元と継続的な企業の成長の双方を経営の最重要課題の一つと認識しております。本方針のもと、2022年3月期の期末配当予想を前回発表いたしました1株当たり70円00銭より15円増額した85円00銭とし、既に実施しております中間配当55円00銭を含めた合計年間配当140円00銭の配当予想とさせていただきます。

(注)上記の市場予想、連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断並びに予想したものであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上